

## 正誤表

野島 高彦 著「はじめて学ぶ化学」, 化学同人, 2015年3月1日第1版第4刷

ページ, 行	誤	正	備考
9 例題 1.8 解答(a)	$2.5 \times 10^{-1} \text{ L}$	$2.50 \times 10^{-1} \text{ L}$	有効数字
24 下から 9 行目	Li <sup>+</sup> のイオン半径は <u>0.90</u> nm だが,	Li <sup>+</sup> のイオン半径は <u>0.090</u> nm だが,	桁の誤り
24 下から 9 行目	Na <sup>+</sup> のイオン半径は <u>1.16</u> nm で	Na <sup>+</sup> のイオン半径は <u>0.116</u> nm で	桁の誤り
24 表 2.3	半径/ <u>10<sup>-10</sup></u> m	半径/ <u>10<sup>-9</sup></u> m	桁の誤り
33 上から 8 行目	価電子数が規則的に変わり, 価電子数も規則的に変わる.	価電子数が規則的に変わる.	説明の重複
35 上から 9 行目	図 <u>3.7</u>	図 <u>3.6</u>	番号の誤り
44 上から 6 行目	電気陰性度 <u>2.1</u> の H 原子と, 電気陰性度 <u>2.9</u> の Cl 原子が	電気陰性度 <u>2.20</u> の H 原子と, 電気陰性度 <u>3.16</u> の Cl 原子が	表 4.1 の値に揃える
67 表 6.1, 濃度の定義, モル濃度	$\frac{\text{溶液の物質質量}[\text{mol}]}{\text{溶液の体積}[\text{L}]}$	$\frac{\text{溶質の物質質量}[\text{mol}]}{\text{溶液の体積}[\text{L}]}$	誤字
67 表 6.1, 濃度の定義, 質量モル濃度	$\frac{\text{溶質の物質質量}[\text{mol}]}{\text{溶質の質量}[\text{kg}]}$	$\frac{\text{溶質の物質質量}[\text{mol}]}{\text{溶媒の質量}[\text{kg}]}$	誤字
80 下から 7 行目	「CuO による H <sub>2</sub> の還元反応」	「CuO による H <sub>2</sub> の酸化反応」	誤字
100 まとめ 5 行目	気体から液体に変化するときに吸収する	気体から液体に変化するときに放出する	誤字
107 図 9.5 「 $n_A RT/V$ 」の右隣	$nRT/V$	$n_B RT/V$	脱字
107 図 9.5 上記の右隣	$nRT/V$	$ncRT/V$	脱字
140 上から 9 行目	$\frac{\text{(溶液の質量)}}{\text{(飽和溶液の質量)}}$	$\frac{\text{(溶質の質量)}}{\text{(飽和溶液の質量)}}$	誤字
148 章末問題 3 上から 5 行目	KNO <sub>3</sub> の密度は $1.16 \text{ g cm}^3$ である.	KNO <sub>3</sub> の密度は $1.16 \text{ g cm}^{-3}$ である.	脱字
162, 14.2.2	水と塩化水素の反応	水と酢酸の反応	誤字